

# 令和6年度 5歳児 「発表会」

(令和6年度実践前修正箇所を斜体、  
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 1月～2月

## 2. 設定の理由

一つのお話をテーマにし、様々な登場人物になって学年で取り組む運動会のリズム表現や学級集団で取り組む発表会を、これまでに5回経験してきている。また、5歳児の発表会の取組を見る機会もあり、学年や学級の集団ではなく、自分達のしたい発表をグループに分かれて発表する姿を目にしてきている。

これまで、好きな遊びの中では、気の合う友達や同じ遊びをしたいと思う友達同士で集まり、一緒に遊びながら、互いの考えをぶつけ合うことを通して、自分達の必要から、**また必要を感じるきっかけを教師に作ってもらい**、遊び方や役割、ルールなどを話し合ったり、相談したりして遊びを進める姿が見られるようになってきている。ただし、その個人差は大きく、リーダー的に動く子どもから、グループという小さな集団すら意識しにくい子どもまで、一人一人の子どもを見るとその状況は様々である。

このように様々な状況にある子ども達が、小学校以降の**学習**においても学びを積み重ねていけるように、どの子どもにも必要な学びを保障する必要がある。そこで、11月から12月にかけて、5歳児のクラスの枠を外し、子ども達が自分達でしたいお店によってグループを作り、そのグループの共通の目的に向かって進めていくお店屋さんごっこの活動を展開してきた。このお店屋さんごっこでは、年少児や年中児を招待する日を設定し、その日に向けてグループで計画し、活動を進めるということを経験している。

このような保育の形態をとることによって、グループの友達と意見を調整しながら協力して活動を進める必然性が生まれてくる。すると、リーダー的な動きをする子どもを中心とした話し合いが行われるようになる。そして、グループの友達みんなが納得して遊びを進めるためにはどうすればいいのか、試行錯誤を繰り返したり、先の見通しをもちつつ、**自分達の願いを実現するために**、互いの思いを擦り合わせたり一つ一つの問題を解決したりしていくことを期待することができ、自分達でやり遂げた充実感を味わわせることができると考える。

そこで、今回の発表会においても同様の保育形態をとり、年長時の1年間のまとめとして、それぞれの子ども達が自己発揮しつつ、一緒にグループの友達と共通の目的を自分達で設定し、相談したり、話し合ったりする中で、試行錯誤しながら自分達で諸課題を解決して乗り越え、自分達の発表を作り上げていく充実感を味わえるようにしたい。

## 3. ねらい

- ①自分達のしたい発表会を考え、その中で自分の発表したいことを決め、同じ発表に取り組みたいと思った友達と一緒に、**自分達の実現したいことに向けた具体的な目標をもち**、そのためにどうすればよいか考え続けたり、諦めずに取り組み続けたりしてやり遂げようとする。 自ら決める・選ぶ  
問題を認識する
- ②自分達が発表したいことに取り組みながら、**実現したいことに近づいたと感じ**  
**て**喜んだり、自分達で諦めずにやり遂げたりしたことに満足したり、**自分の考えに自信をもったり、頑張りや成長を感じたり**する。 自分に満足する  
自分を客観的に把握する  
比較する
- ③グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、自分の気持ちを落ち着けたり、**切り替えたり折り合いをつけたり**しようとする。 気持ちをコントロールする
- ④**グループの友達に言葉にしてもらったり、認めてもらったり、自分で振り返ったりして、自分の言動やその意味、頑張り、好きなことや苦手なこと、言い方、状態、向き合い方、気持ち、個性を自覚したり認めたり**する。 自分のことを知る
- ④⑤グループの友達と、一緒にしたり助けってもらったりする嬉しさややり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作り、やり遂げる仲間がいることを嬉しく思う。 他者という喜びを感じる
- ⑥⑥グループの友達と一緒に発表を作り出す中で、友達の話を聞いたり、していることを見たりして、友達の気持ちや考えを知ったり、友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど、今まで知らなかった友達の個性に気付いたり、認めた

りする。

④⑦ **グループの友達と一緒に発表を作り出すために、自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする。**

④⑧ **友達の置かれている状況を考えたり気遣ったりしながら、友達にとってどうすればよいか考えてしようとする。**

④⑨ **グループの友達と自分達のしたい発表ができるように、また、発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げていくために、何が必要か、内容や役割、約束決め事などをどうすればよいか考えてしようとしたり、グループの友達と一緒に、納得するまで考えたり、話し合ったり、試したり、振り返って決めたり、決めたことを守ったり責任をもってしたりしようとする。**

④⑩ **縄やフラフープ、跳び箱、一輪車、ボールなどの運動用具を使ったり、こまやけん玉の技をしたりする時の、姿勢や身体の使い方、力加減、体を動かすタイミングなどを、見たり体感したり考えたり試したりしようとする。**

④⑪ **身近な素材や道具の性質、特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようとする。**

④⑫ **自分達の発表に必要な物を思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴を生かしたり、友達がすることを真似たり、友達の考えを取り入れたりして様々に工夫をしながら、描いたり作ったり作ったものを使ってみてどうだったか考え作り変えたりする楽しさを感じる。また、大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。**

④⑬ **曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり曲を選んだり、アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめたり、歌詞の意味を自分の状況や心情と重ね合わせて歌ったり、友達と気持ちを合わせて歌う充実感を味わったりする。**

④⑭ **イメージを膨らませて歌詞を作ることを楽しむ。**

④⑮ **自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり友達のよさを取り入れたり試したり振り返ったりして、よりよい方法を選んで、表現しようとする。**

④⑯ **自分の思いや考えを、順序立てたり理由を添えたりして、伝えようとする。**

④⑰ **自分達の発表の紹介や挨拶に、自分達の発表に相応しい言葉を考えて使おうとする。**

④⑱ **自分達の発表の内容やグループの人数に応じて、発表に使える場の広さ、友達や使うものとの距離や位置を感覚でとらえ、物の置き方や場のとり方、動く方向や身体の向きを考えようとしたり、試してみたことを振り返って考え直そうとしたりする。**

④⑲ **道具が長く使えるように丁寧に扱ったり、限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようとしたりする。**

④⑳ **自分達がしやすかったり見ている人が見やすかったり分かりやすかったりするように、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたり動かそうとしたりしようとしたり、そうするよさを感じたりする。**

## グループの題材に合わせて追加するもの

ア. **跳び箱を使う際に、どのような場所でするとぶつからないか考えて活動場所を決めたり、マットを敷いたり、跳び箱を安全に運ぶ方法を友達と考えたり試したり、跳ぶ向きを相談したりしようとする。**

イ. **リズムや曲調を感じて音を鳴らすことを楽しんだり、音を聞いて音の高低や音色質、音階を感じたり、友達と合わせて音を重ねようとしたりする。**

ウ. **お話のそれぞれの場面の様々な登場人物の設定や気持ちを感じたり考えたり、**

自分のことを伝える  
問題を認識する  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する  
実行し、結果を基に判断を下す

他者のことを考えて行動する  
総合する

人と物事を進める  
総合する

問題を認識する  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する  
実行し、結果を基に判断を下す

身体を操作する

事物・現象を捉える

造形に表す  
関連付ける  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する  
実行し、結果を基に判断を下す

音楽に表す  
関連付ける  
自分を客観的に把握する

文芸に表す

演出に表す  
問題を認識する  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する  
実行し、結果を基に判断を下す

文章の構成を整える  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する  
語彙・語句を活用する

空間を捉える  
問題を認識する  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する  
実行し、結果を基に判断を下す

資源の活用を見つめる

場や状況を整える

身を守る

音楽に表す

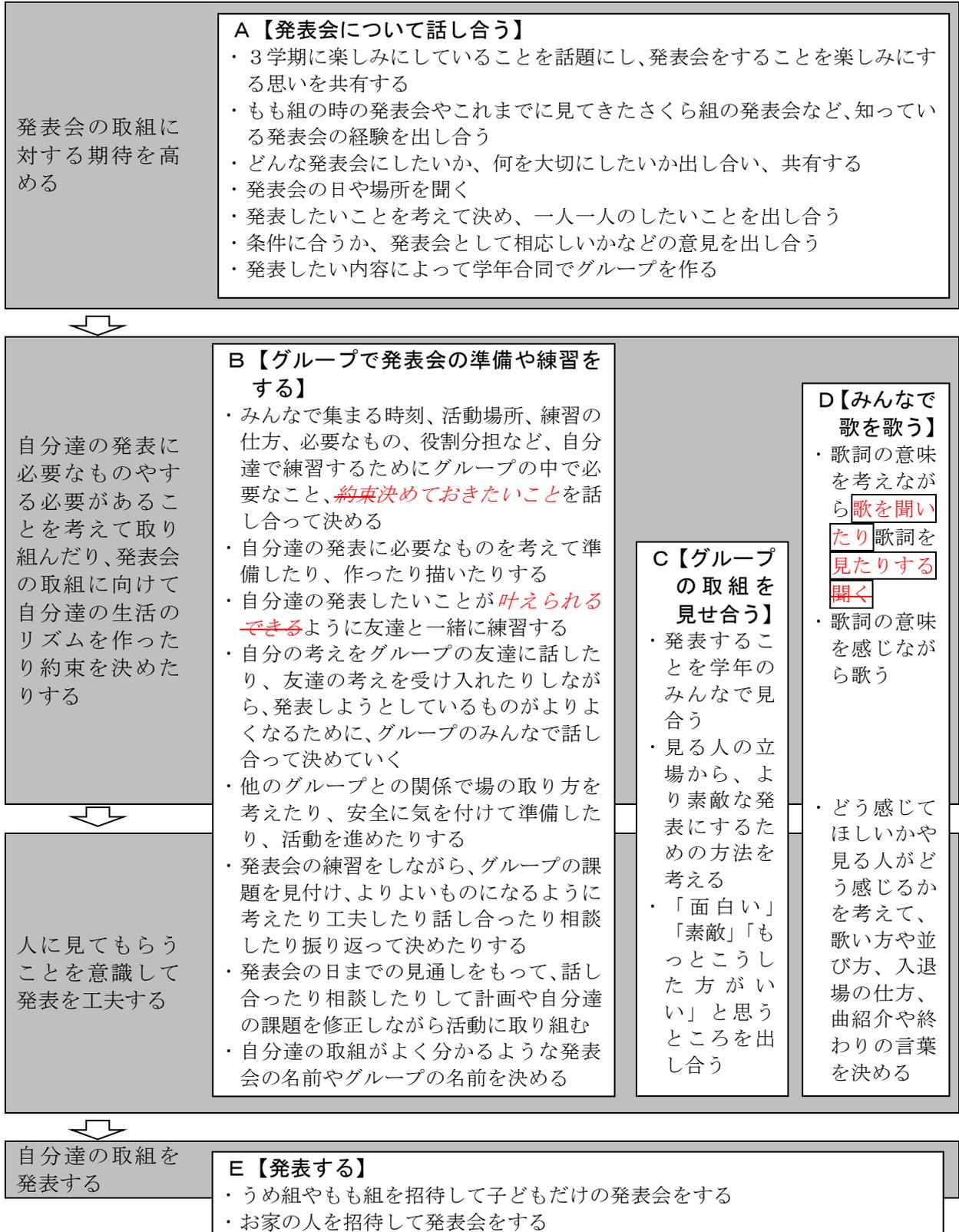
文芸に表す

イメージを膨らませたり設定を生かしたりして話の展開を考えたりしながら、登場人物の気持ちに近付こうとしたり、友達と一緒にお話を作る楽しさを感じたりする。

- エ. 登場人物の気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えたり、友達の考えをとり入れたりして、表現する楽しさを感じる。

身体の動きに表す

#### 4. 展開





A【発表会について話し合う】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期に楽し みにしている ことを話題に し、発表会をす ることを楽し みにする思い を共有する</li> <li>・もも組の時の 発表会やこれ までに見てき たさくら組の 発表会など、知 っている発表 会の経験を出 し合う</li> <li>・どんな発表会 にしたいか、何 を大切にした いか出し合い、 共有する</li> <li>・発表会の日や 場所を聞く</li> <li>・発表したいこ とを考えて決 め、一人一人の したいことを 出し合う</li> <li>・条件に合うか、 発表会として ふさわしいか などの意見を出 し合う</li> <li>・発表したい内 容によって学 年合同でグル ープを作る</li> </ul>	<p>○自分達のしたい発表 会を考え、その中で自 分の発表したいこと を決め、<b>発表会を楽し みに思う発表したい 内容が似ており一緒 に取り組みそうだと 思った友達と一緒に、 自分達の発表を作っ ていくことを楽しみに にする</b>①</p> <p>○発表したい内容が似 ており一緒に取り組 めそうだと思った友 達と一緒に、自分達の 発表を作っていくこ とを楽しみにする①</p> <p>○一緒に発表を作っ ていく仲間ができ ることを喜ぶ④⑤</p>	<p>*話し合いをする時に、どんなことを大切にしながら発表 したいことに向かっていきたいか共有できるように、大切にしたいことを尋ねたり、これまでの経験か ら感じてきているよさや大切さを確かめたりしながら、「ともだち（5人以上）とちからをあわせて」「（グ ループや学年の友達、<b>先では</b>見る人のことも考えられ るように）みんながうれしい」「うみだす」「<b>ゆうぎし つ</b>」というキーワードを言葉にしたり書いたりして示 す。</p> <p>◎自分達の発表会がしたいという気持ちをもてるよう に、これまで友達と作ってきたリズム表現や発表会の ことを話し、5歳の発表会ではどうするか尋ね、共有 していく。そして、自分が発表したいことを考える時 間を十分にとる。</p> <p>*子ども達が実現したいことに存分に取り組<b>められる</b> <b>むことができる</b>ように、それを支えられる教師の人数 から総グループ数は6つまでとする。</p> <p>*全グループの発表を見てもらえるように、1グルー プの持ち時間は用意と片付けを含めて15分程度とす る。</p> <p>◎全体の見通しをもって発表を考えられるように、およ よその持ち時間を知らせておく。</p> <p>◎自分が本当に取り組みたいことを自分の意志で決 められるように、全員でグループを決める日までに取 り組みたいことを友達と相談せずに考えておくよう伝 えたり、取り組みたいことを個別に聞き取り、全員分 を聞き取った後に表示したりする。</p> <p>*友達の考えている発表したいことがよく分かるよう に、子どもが考えた発表の内容を文字やイラスト等 でかき記したり、不明な点を尋ねて伝え合う場を設け たりする。</p> <p>◎発表したい内容が近く、一緒に取り組みそうだと思 った友達と一緒に、自分達の発表を作っていくことを 楽しみに<b>思える</b>できるように、出し合った発表の内容を 一緒に見ていき、大切にしたいキーワードの条件に合 うか、発表会としてふさわしいかなどを一緒に考えな がら、グループ作りをする。</p> <p>◎仲間ができた嬉しさを感じられるように、グループで 集まる場を直後に設けたり、仲間が決まったことを教 師も一緒に喜んだりこれからの楽しみな思いを言葉 にしたりする。</p>

B【グループで発表会の準備や練習をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで集ま る時刻、活動場</li> </ul>		<p>*発表会の日までの見通しがもてるように、カレンダー を掲示し、今日と発表会の日、準備ができる日数を明</p>

所、練習の仕方、必要なもの、役割分担など、自分達で練習するためにグループの中で必要なこと、**決めておきたいこと**を話し合っ  
て決める

- ・自分の考えをグループの友達に話したり、友達の考えを受け入れたりしながら、発表しようとしているものがよりよくなるためのことを、グループのみんなまで話し合っ  
て決めていく
- ・他のグループとの関係で場の取り方を考えたり、安全に気を付けて準備したり、活動を進めたりする
- ・発表会の練習をしながら、グループの課題を見付け、よりよいものになるように考えたり工夫したり話し合ったり相談したり振り返って決  
めたりする
- ・発表会の日までの見通しをもって、話し合ったり相談したりして計画や自分達の課題を修正しながら活動に取り組む
- ・自分達の取り組みがよく分かるような発表会の名前や

○同じ発表**をに**取り組みたいと思った友達と一緒に、自分達の実現したいことに向けた具体的な目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、諦めずに取り組み続けたりしてやり遂げようとする。①

○自分達が発表したいことに取り組みながら、実現したいことに近付いたと感じて喜んだり、自分の考えに自信をもったり、自分の頑張りや成長を感じたりする②

○グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、自分の気持ちを落ち着けたり、**切り替え折り合いをつ**  
**けたりしようとする**③

○グループの友達に言葉にしてもらったり、認めてもらったり、自分で振り返ったりして、自分の言動やその意味、頑張り、好きなことや苦手なこと、**言い方、状態、向き合い方、**気持ち、個性を自覚したり認めたりす

示しておく。

\*グループで相談したことを覚えておき、共有したり、見直しをもったり、決めたことを責任をもって取り組んだりするように、紙と付箋、画板を用意しておく。

\*子ども達が相談したことをすぐに始められるように、いろいろな遊具や用具、材料をすぐに取り出せるところに用意しておいたり、子どもから要求があればすぐに用意したりする。(画用紙、折り紙、新聞紙、ボール紙、段ボール、箱、カラービニール袋、布テープ、ビニールテープ、セロテープ、油性ペン、色鉛筆、紐類など)

\*発表する内容を考える手がかりとなるように、発表したい内容に関連する本や掲示、音源等を用意する。

\*発表に必要な物を自分達で管理したり大切に扱ったりするように、それぞれのグループ毎にまとめて置いておける場所を子どもと一緒に作っていく。

◎それぞれのグループの進行状況を見て、目標に向かって諦めずに取り組んだり考え続けたり**していける****まで**のように、励ましたり、少しでも実現したいことに近付いていることを見付けて言葉にしたり、それに至るまでの頑張り感に感心したり、一緒に考えたり、ヒントを与えたり、子どもだけでは難しいところを手伝ったりする。

◎一人一人の子どもが自分の考えに自信をもったり、自分の頑張りや成長を感じたりするように、一人一人が考えを出していることや教師が感じた考えのよさ、**や**一人一人の頑張り、**や**以前との違いを具体的に言葉にしたり、自分**で**はどう感じているか尋ねたりする。

◎以前との違いを感じたり、実現したいことに近付いたと感じたりして嬉しい気持ちを感じられるように、取り組んでいるところを動画に撮って一緒に見たり、以前との違いやしたいことに近付いていることを具体的に言葉にして一緒に喜んだりする。

◎**納得して進めたり、自分の気持ちを落ち着けたり、自**  
**分の気持ちに切り替えたりし折り合いをつけて、**グループで話し合**おうたりしよう**と思えるように、自分の気持ちを出せているか確かめながら見守ったり気持ちを尋ねたり、十分に時間をとって、納得するまで話し合う場を設けたりする。

◎自分の気持ちや頑張り、個性などを自覚したり認めたりするように、友達に言葉にしてもらったことを自分ではどう思っているか尋ねたり、教師が見取った頑張りや個性などを言葉にしたりする。

◎友達や苦手なことに対する自分の向き合い方を自覚するように、教師が見取った向き合い方を言葉にしたり、周りの友達にどう見えているかを聞く機会を設けたりする。

グループの名前を決める

る。④  
○グループの友達と、一緒にしたり助けてもらったりする嬉しさややり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作っていく仲間がいることを嬉しく思う④

⑤  
○グループの友達と一緒に発表を作り出す中で、友達の話の聞いたり、していることを見たりして、友達の気持ちや考えを知ったり、友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど今まで知らなかった友達の個性に気付いたり認めたりする⑤⑥

○友達の考え、頑張ることができるようになったこと、作ったものの工夫などを素敵だと思う⑤⑥

○グループの友達と一緒に発表を作り出すために、自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする⑥⑦

○友達の置かれている状況を考えたり気遣ったりしながら、友達にとってどうすればよいか考えてしようとする⑦⑧

○グループの友達と自分達のしたい発表ができるように、**また、発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げていくた**

◎助けてもらったり、**認めて褒めて**もらったり、作りあげていくことを一緒に喜んだり**することができる**ように、友達を助けたり**認め褒め**たりしていることが友達にどんな思いを抱かせるか言葉にしたり、仲間がいてよかった、よい仲間が集まっているなどの気持ちを言葉にして共感**したり**していく。

◎一人一人の子どもの考えが活かされ、互いの考えていることを分かり合って発表を作り上げられるように、一人一人の子どもの考えを聞き合**うことやったり**考えている動きを見せ合**うったりする**機会を作ったり、子ども達が自分達で相談している様子を**そばで**見守ったりする。

◎友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど今まで知らなかった友達の個性に気付いたり**認めたり受け入れた**りしていけるように、友達の取り組んでいる様子を紹介したり、一人一人の取組の違いやよさなど教師の気付いた個性を言葉にしたり、個性を認めている姿を言葉にしたりする。

◎友達のよさを認められるように、友達の考えや頑張り、作ったものの工夫などを伝えたり、それらを認めている姿を見せたりする。

◎自分の気持ちや考えがグループの友達に伝わる伝え方を考えられるように、様子を見守り、聞き手に分かっていないことはないか尋ねることを促したり、教師がポイントを絞って質問したり、伝え方の選択肢がもてる振り返りの言葉をかけたりする。

◎受け入れてもらえる言い方を考えられるように、言い方によって同じことを言っても受け止めが違うことを例を挙げて伝えたり、相手がどんな様子なのか確かめたり、どんな言い方がよいか尋ねたり、教師の考えた例も挙げて選ぶ状況を作ったりする。

◎伝えるよさを感じられるように、伝わったことで生じたよさを言葉にして伝えたり、伝えようとしたことがきっかけとなっていることを強調したりする。

◎友達のことを気かけられるように、友達がどういう状況か尋ねたり、友達から状況を聞く場を作ったり、知らせたりする。

◎友達の置かれている状況を**踏まえて考えて**友達にとってよいことを考えられるように、そうすると**友達にとってどうなのかはどうなるか**を尋ねたり、教師はどうなると思うかを伝えたり、考えていること自体が友達にとって嬉しいことだと話したりする。

◎一人一人の子どもがもっているイメージを共有していけるように、考えが同じところや違うところを整理して書き表すなどして、遊びの進め方や面白くする方法、それに必要なものなど、ポイントを明確にする。

◎グループの友達と十分に考えたり試したり振り返ったり**していけることができる**ように、各グループ

めに、何がなか、内容や役割や約束をどうすればよいかを考えてしようとする④⑨

○自分達のしたい発表ができるように、また、発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げていくために、みんなが納得するまで一緒に考えたり、試したり、話し合ったり振り返って決めたり、決めたことを守ったり責任をもってしようとする④⑨

の練習や準備の拠点となる場所を子どもと相談しながら決める。

- ◎グループの仲間全員が考えを出して発表を作れることが出来るように、一人一人がどこを考えたのか具体的に尋ね、全員の考えが出され反映されているか子ども達自身が振り返る機会を設ける。
- ◎自分の思いや考えを出しにくい場合も、その子なりの考えが出せるように、教師が質問する姿を見せて友達の考えを引き出すことを促したり、いろいろな友達の考えを引き出そうとするよさを言葉にしたりして、みんなが考えを出そうとする雰囲気を作っていく。
- ◎みんなで話し合って決められるように、同じグループの友達に話したりやって見せたりする機会を作り、見せ合ったり考えたりしていることを認め褒めたり励ましたりする。
- ◎考え試したことをグループのみんなでも振り返られるように、試してみてどうだったか尋ねたり、試しているところを写真や動画で撮影してグループのみんなで見える場をもったりする。
- ◎他グループの考えに刺激を受けたり、相談に乗ったり、自分達のことを振り返ったりして、自分達のしたい発表がよりよくなるように考えられるように、クラスや学年でグループの発表の上手くいったことや工夫したりしたこと、困っていることを伝え合う時間をもったり、日常的に発表を見合う機会を設けたりする。
- ◎相談したことをグループのみんなでも決めたこととして共通理解していきたり、自分達の考えをまとめたり整理したりしていきけるできるように、自分達に必要なことを紙に書くことを提案したり、一緒に考えながらみんなの考えをまとめる手伝いをしたりする。
- ◎自分の考えに加えて友達の考えを取り入れられるように、他の友達に考えたことを話したり見せたりして意見を聞く状況を作る。
- ◎問題を自分達で解決していきけるように、意見を出し合ったり、友達の意見について考えたり受け入れたりする姿を励ましたり感心し褒めたりする。
- ◎みんなで集まって活動しようという意識を全員がもてるように、みんなで集まっているよさを言葉にしたり、離れたところでグループを意識せずに違うことをしている子どもの存在をグループの子どもに知らせ、自分達のしたい状況になっているか尋ねたりする。
- ◎自分達の必要から決めたこと約束をみんなでも守り続けられるように、守らない友達に働きかける姿に対してそうすることのよさを言葉にしたり、決めたことを書いた紙を見るよう提案したりする。
- ◎自分の責任を果たせるように、グループの発表の中で、それぞれの子どもが担っている役割を自覚し、その責任を果たそうとしている姿から感じた子どもにとってのよさを言葉にする。
- ◎役割の意識が薄いできていない子どもが意識できるように、その子どもに自分の役割を尋ねたり、友達に確かめたり、確かめることを提案したりする。
- ◎発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げ

・自分達の発表  
したいことが  
できるように  
友達と一緒に  
練習する

・自分達の発表  
に必要なもの  
を考えて準備  
したり、作ったり  
描いたりする

○縄やフラフープ、跳び箱、一輪車、ボールなどの運動用具を使ったり、こまやけん玉の技をしたりする時の、姿勢や体の使い方、力加減、体を動かすタイミングなどを、見たり体感したり考えたり試したりしようとする④⑩

○身近な素材や道具の性質や特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようとする。④⑩

○自分達の発表に必要な物を思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴を生かしたり、友達がすることを真似たり、友達の考えを取り入れたりして様々に工夫をししながら、描いたり作ったり作ったものを使ってみてどうだったか考え作り変えたりする楽しさを感じる。また、大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。④⑫

○曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり曲を選んだりする。④⑬

○自分のなりたいものをよりそれらしく表現したり、見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現したりするために、

ていくために考えたり試したり話し合ったりしようと思えるように、全員のしたいことが叶う発表になっているのか尋ねたり、したいことを組み合わせてみることを提案したりする。

◎姿勢や身体の使い方、動かし方、力加減、体を動かすタイミングなどを見たり、身体で感じたり考えたり、試したりすできるように、しているところの動画や教師がしているところを、姿勢や動きなどのポイントを具体的に言葉にしてもらいながら見る機会を設ける。

◎身近な素材や道具の性質、特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようと思えるように、用途を尋ねた上でぴったりの素材や道具が何か一緒に考えたり、どんな性質や特徴があるのか尋ねたり、したいことに向けて、使える素材や道具を複数提示したりする。

◎自分達の発表に必要な物を具体的にイメージし思い描いて作ったり描いたりすできるように、発表の中身や登場人物、ストーリー、世界観などを具体的に尋ねていく。

◎素材の特徴を生かして、工夫して作ったり描いたりしようと思えるできるように、素材のよさや生かせるところと一緒に考えたり、提案したり、他児のしている工夫を知らせたり、もっとかっこよくやさしいに子どもが望んでいる方向と一緒に考えたりアイデアを出したり友達からアイデアを聞く場をもったりする。

◎作ったものを試して考えたり作り直したりしようと思えるように、早速試してみることを提案したり、試してどうだったか尋ねたり、どの要素を変えるとより素敵になるか一緒に考えたりする。

◎大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じられるように、友達の作ったものを見る機会を設けたり、見てどう感じたか尋ねたり、教師が感じた子どもがこだわっているポイントを言葉にしたりする。

◎曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり見せたいものに合うような曲を選んだりするように、いろいろな曲調やリズム、テンポの曲を準備したり、曲の変化を言葉にしたり、曲調やリズム、テンポを感じながら技を切り替えたりタイミングを合わせたりしていることを言葉にしたりする。

◎自分のなりたいものをよりそれらしく表現できるように、なりたいものの特徴を尋ねたり、特徴となり得る身に付けているものや持ちものなどの要素を伝えたりする。

◎見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現する方法を考え試すことができるように、教師が客になって感じた表現の工夫の

小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり **友達のよさを取り入れたり** 試したりして振り返り、よりよい方法を選んで表現しようとする **⑭**

**⑮**

○自分の思いや考えを、順序立てたり理由を添えたりして伝えようとする **⑮⑯**

○自分達の発表の紹介や挨拶に、自分達の発表に相応しい言葉を考えて使おうとする **⑯⑰**

○自分達の発表の内容やグループの人数に応じて、発表に使える場の広さ、友達や使う物との距離や位置を感覚で捉え、物の置き方や場のとり方、動く方向や身体の向きを考え **たり、試してみたことを振り返って考え直そうとしたりし**ようとする **⑰⑱**

○道具が長く使えるように丁寧に扱ったり、限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようとする **⑱⑲**

○自分達がしやすかったり見ている人が見やすかったり分かりやすかったりするよう、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたりしようとする、そうするよさを感じたりする。 **⑲⑳**

よさを言葉にしたり、分かりにくいところを具体的に言葉にしてどうすればよいか尋ねたり、アイデアが出なければ他児に尋ねたり、アイデアを例示したり、**友達の発表を見る機会を設けて表現が伝わりやすいと思つた工夫を尋ねたり**する。

◎ **感じてほしいことをより効果的に表現する方法を試して振り返られるように、試してみてどうだったか尋ねたり、試す様子を写真や動画で撮影し、見る機会を作ったりする。**

◎一人一人の子どもが自分の考えを **分かってもらうために意識して話し方や伝え方を考えられる分かるように伝えるための話し方を意識する**ように、友達に考えを伝えている様子を見守り、話のポイントを整理したり質問したり何を言えば友達に伝わるのかを提案したりする。

◎発表会で実際に使う言葉を意識できるように、教師が見る人になりながら、それぞれの場面で使っている言葉について感じたことを伝えたり、よりよい言葉をみんなで考えるきっかけを作ったりする。

◎遊戯室で使える場の広さをイメージして、空間の使い方や動きを考えられるように、遊戯室以外の場所で活動している時にも、おおよその広さを示したり伝えたり、広さをイメージできる空間で活動できるよう **なに**場所を探したりする。

◎物を置く位置や動く方向、身体の向きを考え **たり、試してみたことを振り返って考え直そうとしたりしようと思えるられる**ように、活動場所にかかわらず常にお客さんがどこから見ていることにするのか尋ね、向きの共通理解を促 **したり、試してみてどうだったか尋ねたりする。**

◎道具を長く使うために丁寧に扱おうと思えるように、もったいない状態になっていないか、長く使うためにどうしたらよいか尋ねる。

◎限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようと思えるように、時間や場所の見通しを伝えたり、限られた状況の中で今どうしたらよさそうか尋ねたり、もったいないポイントを言葉にしたりする。

◎自分達がしやす **くするためにい**ように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、しにくさを尋ねたり、何があるとよさそうか尋ねたり、物や人の位置や向きについて言葉にして意識化したりする。

\*見ている人が見やすい **ように**物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんの位置を椅子を置いたり、教師が立ったり座ったりして示す。

◎見ている人が見やす **くい**ように分かりやす **くなるためにい**ように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんになってどう見えているか言葉や静止画、動画で知らせたり、お客さんの位

置から見ることを提案したりする。

C【グループの取組を見せ合う】

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表することを学年のみんなで見合う</li> <li>・見る人の立場から、より見やすく分かりやすくするための方法を考える</li> <li>・「面白い」「素敵」「もっとこうしたほうがいい」と思うところを出し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他のグループの発表がよりよくなるように、自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとする④⑦</li> <li>○自分のなりたいものをよりそれらしく表現したり、見ている人がどう感じているかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現したりするために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり <b>友達の良いところを取り入れたり</b> 試したりして、表現しようとする④⑮</li> <li>○自分の思いや考えを、分かるように順序立てたり理由を添えたりして伝えようとする⑮⑯</li> <li>○自分達の発表に相応しい言葉、見ている人に分かるように伝えるために必要な挨拶の仕方、話の仕方を考えて使おうとする⑯⑰</li> <li>○自分達がしやすかったり見ている人が見やすかったり分かりやすかったりするよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎発表を見て感じたことを出し合うこと <b>でを通して、発表したグループの友達がそれぞれのグループの子どもが課題をはっきりと意識し、よりよく改善していこうと思うような伝え方をしようと思えるができる</b> ように、見ている子どもが感じた事を伝える際、特にマイナス面については、感じたことを言うだけに終わらせず、どうすればよくなると思ったかを合わせて伝えるよう提案する。</li> <li>*発表を見る保護者の位置からの見やすさや分かりやすさを考えられるように、当日のお客さんである保護者が見る位置から友達の発表を見る状況を作る。</li> <li>◎発表がより素敵で楽しく見やすくなるように、見ている人の立場から、見ていて楽しいところや分かりにくいところなどの意見を伝えるよう提案したり、子どもから出なかったポイントを教師も伝えたり、<b>自分のグループの発表にも生かせるところがないか尋ねたり</b> する。</li> <li>◎みんなで一つのグループの取組を見る時のポイントが意識できるように、事前にどんな意見 <b>だとか</b> 役立つか、必要 <b>なの</b> か尋ね、「素敵だと思うところや頑張っていると思うところ」「もっとこうしたらよくなると思うところ」を見付けておき、出し合うことを伝える。</li> <li>◎一人一人の子どもの言いたいことを <b>聞いている人が分かるように</b> 伝えられるように、言葉の足らないところは質問をして聞き出したり、よく分かる順番に話をしている子どもの話し方や理由を添えているところを具体的に <b>言葉にし褒め</b> たりする。</li> <li>◎自分達の発表に相応しい言葉や見ている人にとって分かりやすい説明の言葉や話の仕方に気付けるように、それぞれの発表に合っている言葉を具体的に知らせたり、聞いていてよく分かるところをその理由と共に取り上げたり、分かりにくいところを話題に挙げ、どうすればよく分かるか尋ねたり、一緒に考えたりする。</li> <li>◎自分達がしやすいうように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、実際に本番と同じように試してみようか、これまで考えてきたことは上手くいったか尋ねる。</li> </ul>

	うに、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたりしようとしたり、そうするよさを感じたりする <del>19</del> 20	◎見ている人が見やすいように分かりやすいように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、見ていた人にどう見えていたか尋ねたり、何があるよさそうか、位置や向きはどうか尋ねたりする。
--	---	--

D【みんなで歌を歌う】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を考えながら歌を聞いたり歌詞を見たりする開←</li> <li>・歌詞の意味を感じながら歌う</li> <li>・どう感じてほしいかや見る人がどう感じるかを考えて、歌い方や並び方、入退場の仕方、曲紹介や終わりの言葉を決める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめる。<del>12</del>13</li> <li>○歌詞の意味を自分の状況や心情と重ね合わせて歌ったり、友達と気持ちを合わせて歌ったりする充実感を味わう<del>12</del>13</li> <li>○見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現するために、並び方や入場の仕方等を考えて表現しようとする<del>14</del>15</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*歌に込められた気持ちを感じたり、大きくなった自分や仲間とのつながりを感じたりしながら歌えるように、修了が近く、もうすぐ進学する今の時期の心情と重なる歌を選ぶ。</li> <li>◎アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめようと思えるように、教師が歌って聞く場を設けたり、聞いてどう感じたか尋ねたりする。</li> <li>◎歌を通じて自分の気持ちや感謝を伝えることを意識しながら歌えるように、それぞれの歌詞がどういう気持ちを表しているのか、自分達の心情と重なる部分はどういったところか、子どもと話をしながら歌詞を伝えたり、その気持ちを思いながら歌いたい思いを共有したりする。</li> <li>◎聴き手がどう感じるかを考えて、感じてほしいことがより伝わる方法を考えられるように、歌い方をどうしたいか尋ねたり、方法の例を挙げたり、交替で歌って聞き合う場を設けたりする。</li> <li>◎見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことがより伝わる方法を考えられるように、並び方や入退場の仕方、発表の終わり方をどうしたいか尋ねたり、どんな方法があるか例を挙げたりする。</li> </ul>

E【発表する】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・うめ組やもも組を招待して子どもだけの発表会をする</li> <li>・お家の人を招待して発表会をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分達の発表を通して自分達で諦めずにやり遂げたことに満足する②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子ども達の日々の成果や当日の頑張りをしっかりと見てもらえるように、どの席からも子ども達の発表が見えるように会場を整える。</li> <li>◎発表会当日の自分の出番を意識して準備ができるように、準備を始めるタイミングが分かりやすい目安を子どもと一緒に見付けておく。</li> <li>◎発表当日に至るまでの取組の姿を保護者に分かってもらえるように、それぞれのグループが乗り越えてきた課題やその過程、成長、楽しんできたことなどを、各グループの発表の片付けと準備をしている間に保護者に伝える。</li> <li>◎自分達が向き合ってきた取組を、一人一人の子どもが自信をもって力を発揮して発表できるように、励ましたり力を出し切りたい思いを言葉にしたりする。</li> <li>◎一人一人の子どもが諦めずにやり遂げた満足感を十</li> </ul>

	<p>○グループの友達と一緒にやり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作りやり遂げる仲間がいることを嬉しく思う④⑤</p>	<p>分に感じられるように、頑張ったことに感心したり、やり遂げたことを一緒に喜んだりする。</p> <p>*発表で見てほしかったことや伝えたかったことが伝わったりやり遂げたりした満足感を感じられるように、保護者に感想を付箋に書いてもらい、<b>子どもがすぐ見られる場</b>を設ける。その際、子どもにとって見やすいように、ひらがなで書き、グループ毎等カテゴリー分けして貼ってもらう。</p> <p>◎グループの友達と一緒にやり遂げた喜びを感じられるように、タッチをしたり肩を組んだりなどする姿と一緒にあって喜んだり、タッチや肩組みなどをするきっかけを作ったりする。</p> <p>◎一緒に発表を作り遂げる仲間がいる嬉しさを感じられるように、これまでの友達との頑張りや友達がいたからこそできたことを具体的な例を挙げて振り返る。</p>
--	--	--

グループの題材に合わせて追加するもの

予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛び箱などを準備する</li> <li>・ 飛び箱を跳ぶ</li>   <li>・ 楽器を鳴らす</li> <li>・ 楽器を作る</li>   <li>・ お話を作る</li> <li>・ 役になって演じる</li> </ul>	<p>○どのような場所でするとぶつからないか考えて活動場所を決めたり、マットを敷いたり、飛び箱を安全に運ぶ方法を友達と考えたり試したり、跳ぶ向きを相談したりしようとする。⑦</p> <p>○リズムや曲調を感じて音を鳴らすことを楽しんだり、音を聞いて音の高低や<b>音色質</b>、音階を感じたり、友達と合わせて音を重ねようとしたりする。⑧⑨</p> <p>○お話のそれぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり設定を考えたり、イメージを膨らませたり<b>設定を生かしたり</b>して話の展開を考えたりしながら、登場人物の気持ちに近付こうとしたり、友達と一緒にお話を作る楽しさを感じたりする。④⑤</p>	<p>◎安全に飛び箱ができる場にしようと思えるように、事前にどんな危険がありそうか話し合う場を設けたり、子ども達が気付いていない<b>重大な危険</b>がある場合には、理由を添えて知らせたり、一緒に場作りをししたりする。</p> <p>◎安全に飛び箱を跳べるように、危ないと思った場面と一緒に振り返ったり、気を付けられそうなこと(跳んだ先の場や距離、跳ぶ方向、飛び箱の運び方など)と一緒に考えたりする。</p> <p>◎リズムや曲調を感じて音を鳴らすことを楽しめるように、教師も一緒にリズムに合わせて体を揺らしたり歌ったり、曲調の変化を言葉にしたり曲調を感じながら音の鳴らし方を変えている友達の姿に注目させたりする。</p> <p>◎音の高低や<b>音色質</b>、音階を感じられるように、いろいろな素材の入れ物や棒、楽器を用意したり、簡単な曲を何曲か提案したり、音階のある楽器を紹介したりする。</p> <p>◎友達と合わせて音を重ねようと思えるように、友達の音をよく聞くよう促したり、録音したものを一緒に聞いてどう思ったか尋ねたりする。</p> <p>◎話の様々な場面での登場人物の気持ちや設定を考えられるように、場面の状況や登場人物の性格などを具体的に尋ねたり、教師が想像する登場人物の気持ちを言葉にししたりする。</p> <p>◎お話を作る楽しさを感じられるように、考えたお話の面白さを言葉にして伝えたり、<b>登場人物の設定が生きていることを言葉にし</b>たり、面白い展開がひらめくヒントを出したり、教師がお話を考えることを楽しむ姿を見せたりする。</p> <p>◎登場人物の気持ちや性格、生態、場面設定から感じたことを表現できるように、登場人物の気持ちや性格、生態、場面の状況などを具体的に尋ねたり、それらがイメージしやすい言葉をかけたりする。</p>

○登場人物の気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えたり、友達の考えを取り入れたりして、表現する楽しさを感じる。



◎曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えようと思えるように、曲調や歌詞からどんなことをイメージしたか尋ねたり、教師が感じたイメージを体で表現してみせたりする。

◎友達の考えを取り入れて表現することを楽しめるように、友達の表現を見る機会を設けたり、素敵だと感じた所を尋ねたり、取り入れてさらに素敵になったことを具体的に言葉にしたりする。